

問合せ先 広報広聴課 (☎ 76 - 1107)

市マスコットキャラクター「こまき山」が皆さんのお問い合わせに対応する自動応答システム「こまき山コンシェルジュサービス」。1月からリニューアルされ、より便利に、わかりやすく進化しました！



### カテゴリで検索可能に！

選択肢表示が3つまでしか表示できない



**カテゴリ、サブカテゴリの設定**により、多くの選択肢を表示。検索できる内容がわかりやすくなりました。



### レイアウト変更で見やすく！

字数制限により、選択肢の詳しい説明が読めない



選択肢の説明文が表示され、**知りたい内容が検索しやすくなりました。**  
また、**画面いっぱいに表示**できるようになり、より見やすくなりました。



### ほかにも...

検索内容の充実により、こまき巡回バス「こまくる」などの公共施設情報、行政サービスも検索可能に。

LINE からだけでなく、市ホームページ、下記QRコードからも利用可能に。

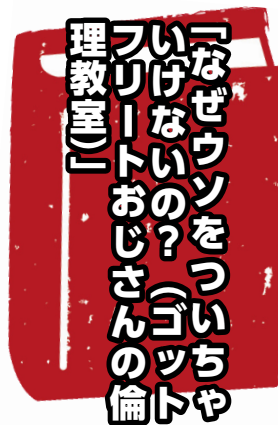


**LINE 市公式アカウント**から利用するには、**こちらをタップ！**

友だち登録はこちら▶



## ブックレビューボタン vol.56 ~私のおすすめの本を紹介~



ライナー・エアリンガー 著  
高木教之・犬養彰乃 訳

「自分で考えること」と「極端にならないこと」の大切さを気付かせてくれる本です。

「ウンをつくこと」の是非」からはじまり、恋愛、法律、お金、環境などについて、主人公の少年とその叔父さんの会話という形で物語が進んでいきます。内容は道徳的ですが、これが正しいという結論があるのではなく、自分の頭で考えるためのヒントを与えてくれます。

今の世の中を見ていると、メディアやネットの情報に多くの人が流されている印象を受けます。私自身も膨大な量の情報を処理することに精一杯で、そしてそれを「自分で考えている」と勘違いしている時があるように思います。

この本の中に「中庸」という言



▲野呂 浩隆さん

婚活コミュニケーション講師。「独身男性のための魅力アップ塾」を主宰。  
(有)FMS 代表、居宅介護支援事業所ケアプラン小牧代表。

葉が出てきます。簡単に言えば極端にならないことです。今、世の中は新型コロナウイルスに対して、「自粛強化」と「経済優先」のどちらを取るべきかの「ジレンマ」を抱えています。私には何が正解なのか分かりませんが、極端に恐れたり、極端に楽観視することなく、まさに「中庸」でありたいと思っています。

自宅で過ごす時間が増えた今、是非この本を読んで、いろんなテーマについて家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

